

令和5年3月7日

カンボジア官民合同委員会結果概要

日時：2023年2月28日(火) 東時間 14:35-17:40

場所：Ministry of Labour and Vocational Training (MoLVT) TVET Park 内 NTTIビル 4階会議室

参加者数：21名

政府(3)： 東 労働職業訓練省 職業教育訓練総局(MoLVT/DGTVET) 副局長 (1名)

労働職業訓練省 職業教育訓練総局(MoLVT/DGTVET/DSC) 副部長・課長・職員 (3名)

日 厚生労働省 海外協力交渉専門官 (1名)

在カンボジア大使館 (1名)

訓練施設(4)： ITI(2名), NTTI(4名), NPIC(2名), PPI(2名)

援助機関(1)： JICA (2名)

有識者(1)： SESPP 事務局技術顧問

事務局(1)： JTB 霞が関事業部 (2名) (別途、日東通訳1人)

1. 今年度の成果(SESPP 事務局、PPI、ITI、NPIC、NTTI)

(1)技能競技大会

・情報ネットワーク施工:競技課題採点・評価方法セミナー

12月19日～23日、1月23日～27日の2回にわたり、NPICで実施。

1回目は受講者5名、オブザーバー3名、2回目は参加者6名、オブザーバー4名。

・本邦研修:

技能競技大会の運営スキルの取得およびレベルアップを目標に厚生労働省・SESPP事務局からの講義、情報ネットワーク施工のセミナー、日本の技能競技大会の視察、訓練施設の視察、等を実施。参加者6名。

(2)技能検定

・シーケンス制御2級技能評価トライアル SET/技能評価者認定 SAC。

10月17日～21日、PPIにて実施。受講者7名、評価者認定合格者7名/受検者6名、合格者3名。

・配電盤制御盤2級技能評価者講習 SAT/技能評価トライアル SET

12月19日～23日、ITIにて実施。受講者10名/受検者4名、合格者0名

・電気系保全2級技能評価者講習 SAT/技能評価トライアル SET

1月9日～13日、NTTIにて実施。受講者7名/受検者3名、合格者0名

・機械検査3級技能評価者講習 SAT/技能評価トライアル SET

2月20日～24日、NPICにて実施。受講者11名/受検者5名、合格者2名

2. 次年度実施に向けた提案(厚生労働省)

①SESPP事業の最終目標:

技能評価システム(技能競技大会・技能検定)を構築することにより、技能労働者の育成及び能力向上を図る。

②技能競技大会・技能検定の目標・活動

・技能競技大会・・・目標:技能競技種目のレベルアップ

活動:専門家によるデモンストレーション・セミナー、
技能競技委員の訓練、模擬競技の実施。

・技能検定・・・目標:技能検定の定着及び実施種目のレベルアップ。

活動:2022 年度事業のフォローアップ。

③2023 年度の事業実施案

・技能競技大会・・・情報ネットワーク施工

カンボジアでの専門家によるデモンストレーション・セミナー、技能競技委員の訓練、模擬協議の実施
日本での国内技能五輪大会視察を含む 2 週間の研修

・技能検定

2022 年度事業のフォローアップ(配電盤制御盤組立 2 級 SET、電気系保全 2 級 SET、機械検査 3 級 SET)

新規支援として機械系職種(フライス盤)の実施を提案

カンボジアの国家検定制度構築への協力

3. 官民合同委員会での主な意見

(1) 各訓練校からの発言

・シーケンス制御 2 級 SET/SAC を実施し、7 名の認定評価者が誕生した。更に 1 級を希望する。

(PPI・Chy Vanny 副学長)

・配電盤制御盤組立は 2016 年より開始し、今回で 6 回目となる。本年度は 2 級の SET を実施した。

次年度は評価者認定を実施してほしい。また、カンボジアに必要な別の職種も支援してほしい。

(ITI・Srypov 副部長)

・本年度より電気系保全 2 級を開始。次年度は 2 級 SET を希望。更に 2 級終了後は 1 級の実施を希望する。

カンボジアに欠かせない職種への支援を検討してほしい。(NTTI・Kem Sam Ath 訓練指導員)

・情報ネットワーク施工の技能競技大会セミナーを 2 回実施。カンボジアで国内技能競技大会を実施するために必要な運営方法、採点方法等を学べた。また機械検査 3 級の SAT/SET を実施した。情報ネットワーク施工と機械検査の継続を希望する (NPIC・San Sokna 氏)

(2)カンボジアでの今後の支援職種について

・今まで電気系職種を中心に支援をしてきたが、機械加工を入れないと産業の発展、人材育成に対する課題は解決しない。フライス盤が良いか検討して DSC に報告願いたい。DSC と事務局で相談の上、支援職種を決めていく。また、トヨタ自動車がかんボジアに組立て工場を作る旨発表したと伺っている。自動車産業はものづくり人材が重要なので、機械加工のできる人材の育成が重要だと思う。(SESPP 技術顧問・稲川氏)

・カンボジアで不足している職種の話題があったが、明確に希望職種を提示する必要がある。本日は各校の学長がいないので、話し合ったうえで、報告する必要がある。(MoLVT/DGTVET・Yim Pichmakika 副局長)

・NPIC には日本式技能検定ができるフライス盤が整備されている関係で、機械系職種としてフライス盤を提案したい。ITI と NPIC は機械科があることは知っているが、全国でどれくらいの数の機械科の訓練校があるか承知していない。カンボジアでの必要性を討議の上、報告いただければ日本側は検討できる。(厚生労働省・内野海外協力交渉専門官)

4. まとめ

・来年度の要望についてはカンボジアからのご意見をお待ちするが、実施途中の研修は次年度も引き続き継続実施する。

各校からの発表で上のレベルを実施したいとの声を伺い、大変素晴らしいと感じる。

評価者のレベルアップも大事だが、受検者を増やし、学生、労働者がレベルアップすることが重要。

最終的には SESPP で教わった内容をそのまま実施するのではなく、カンボジアで必要なものを付加・改良して自律的に技能検定行っていただくことが目標。(厚生労働省・内野海外協力交渉専門官)

・3年以上をかけて、大変な努力をしたうえで、受講者は専門家からの評価を受けて認定評価者となれた。

評価者となった皆さんの力が欠かせない。評価者の皆さんが協力して、カンボジア内で技能の評価ができるよう、各職種についての基準を作してほしい。

各訓練校はこの会議の内容を学長に報告し、各訓練校が協力し合って要望書を3月中に作成、提出するよう依頼する。日本側には、カンボジアの要望を待っていただき、検討いただくことを希望。

(MoLVT/DGTVET・Yim Pichmakika 副局長)

以上